

イラク・レジスタンスからのメッセージ

Message from the Iraqi Resistance

収録ビデオ（このDVDには、日本語字幕のみが収録されています。）

1、世界の人々へ 2004年12月10日

A Message from the Iraqi Resistance to the People of the World

2、アメリカの人々へ 2005年3月17日

Message of the Iraqi Resistance to the American People

3、隠された真実 2007年9月8日

The Hidden Facts - A Message From The Iraqi Resistance

ここに収録したビデオ3本は、それぞれ異なるレジスタンス・グループによって作製されたものだが、彼らはいずれも国際法にも認められた正当な権利として、外国軍隊の侵略と占領に抵抗し、イラクの主権回復を目指すレジスタンス運動を展開している。侵略と占領に反対する国民の運動は幅広い広範な大衆を基盤としておこなわれるが、そこで決定的な問題はイラクの主権を回復することであり、外国の占領軍隊をイラクから一掃することが不可欠であると考えている。

そのような考えにもとづく武装レジスタンスは、占領軍や傀儡イラク政府が主張するような「テロ」とは根本的に異なっている。収録した三つのメッセージからも判るように、むしろ眞の愛国者として、また不正義とたたかう世界の人々と連帯する立場から、崇高な倫理観と人道主義に貫かれた思索さえ感じさせる。

イラク・レジスタンスについての解説は、3ページ以降に資料として『レジスタンスへの直接インタビュー』（ダール・ジャマイルのイラク速報より）を掲載した。

『世界の人々へ』と『アメリカの人々へ』は既に発表されてから3年経つが、アメリカのイラク占領が行き詰まり破綻している状況とその根本原因を明確にするうえでも、十分な分析と洞察を備えていることから、昨年発表された『隠された真実』と合わせて、日本語版を1本のDVDにまとめた。

イラクからのメッセージとして広く世界に普及したいという趣旨に応えて、日本語版を作製したもので、1人でも多くの人に視聴してもらうために、笠井氏の協力を得て製作＆発送実費で頒布することにした。

イラク情勢ニュース 山本史郎

2008年5月29日

世界的な規模の戦争反対デモが繰り広げられた。当初、英メディアは「60カ国で1000万人をかなり超えた可能性もあり、ベトナム戦争当時を上回る史上最大規模に膨らんだ」と伝えた。私も地元の壮瞥町でデモを主催した。室蘭や札幌にも出かけた。あれから5年が過ぎ、なおもイラクでは、米国の軍事侵略とマリキ傀儡政権による占領行政が続く中、イラク・レジスタンス軍が辛抱強く戦っている。



断っておくが、私は暴力を肯定するものではない。まずもって軍事超大国の絶対暴力は許されない。国連決議や世界市民の声は無視され、人間の盾としてイラク入りしていた世界中の人々や国連査察団に退去命令を出し、スカッドミサイルを廃棄中にもかかわらず、その射程距離3倍のトマホークミサイルを湾岸の艦船から人口密集地バクダットに千発も打ち込んだ。そのテレビゲームのような風景をあなたも見たであろう。さて、その軍事侵攻の口実となった大量破壊兵器はどこにあったというのだ。「フセインこそが大量破壊兵器だ」と戯言を吐いた某国の首相はいたが...

圧倒的な軍事力の前に、イラク正規軍は1ヶ月半と保たず雲散霧消した。ゲリラ戦法を採用したのである。ベトナム戦争との違いは、ホーチミン氏のような指導者がいないことだろう。系統だった組織図がないので「民族対立や宗派間対立による内戦状態」を治安平定するために「自由と民主主義が必要」といった言説を持ち込みやすい側面がある。

さて、このDVDに収録された3本のビデオは、インターネットに配信されたレジスタンス軍のコミュニケである。それぞれの発信元名称は異なるが、タイトルの付け方、政治的理念と将来展望など共通項が多くある。ビデオ映像では、レジスタンス軍の武器を公開しており、訓練風景も紹介されている。米軍が遺棄した傭兵の死体など残酷な映像もあるので、山本史郎氏のML「イラク情勢ニュース」を読んでいる人ならともかく、ごく普通の日本人にはお勧めできない。理解されないだけでなく逆効果でさえあるからだ。「ほら、やっぱりテロリスト達は残酷で暴力的なのよ」と。

最後にAさんのコメントを紹介する。

レジスタンスのコミュニケを見て、それが報道で登場するような「テロリストの犯行声明」などと違って、われわれの理解しがたい世界観で行われる一方的な宣言ではなく、伝える相手の価値観を知ったうえで、それに訴えるよう十分配慮されていることを知って、正直おどろきました。

このコミュニケの映像は、日本の従来の報道媒体では一度も紹介されていないと思いますが、アメリカの「コミュニケ」にはいやというほど接しているわたしたちにとって、「ことの次第」を偏りなく知る意味で、途方もなく重要なんじゃないかと感じました。

資料： レジスタンスへの直接インタビュー

ダール・ジャマイルの中東速報

2007年4月20日付より

イラク・レジスタンスについての解説に替えて、イラク報道にたずさわる独立系ジャーナリストとして、また占領軍へのエンベッド取材を拒否する記者として世界的にも高い評価を確立したダール・ジャマイル氏のインタビュー記事を紹介する。

ダール・ジャマイル：西側企業メディアはイラクで発生する暴力事件のほとんどを、市場で自動車爆弾を爆発させて殺しあっているのはイラク人だといったふうに描いてます。イラクでの暴力事件についてイラク人である貴方の見解はいかがですか？

アブ・モハメド：事実として、イラク・レジスタンスは占領が始まって以降、その作戦目標をアメリカ軍とその同盟勢力だけに限定してきました。多くの政治勢力が存在し、それがすべて民兵を擁しているわけですから、イラク人が殺しあったり一般市民が殺されたりするのは侵略者の失政です。民兵の一部はアメリカ軍の支援を受けており、また一部はシオニスト（イスラエル）一部はイランの支援を受けています。しかしイラク・レジスタンスの仕事はアメリカ占領軍の一掃であり、一般市民を殺すことではありません。

ダール・ジャマイル： それでは市民殺害の責任は誰にあるのですか？

アブ・モハメド： 民兵と侵略者です。占領軍と民兵はアメリカがスポンサーとなっていて、民兵はアメリカ軍、シオニスト、イラン人によって支援されています。その目的はレジスタンスをイラク人を殺すだけの悪者に見せたいからです。

ダール・ジャマイル： バクーバにいる私の知人は、レジスタンスがアルカイダと戦っていると言います。アンバール州でもそうなんですか？

アブ・モハメド： アルカイダもその同調勢力も侵略されるまでイラクにはいませんでした。アルカイダがイラクで活動を始めたのは侵略以後のことです。バース党としてはアルカイダを異質なものとみています。彼らは異なる戦略、信条、戦術を持っていて、ことごとく異質です。アルカイダはアメリカ軍の後についてまわり、世界中のどこででも彼らを殺します。イラク・レジスタンスはイラクを占領するアメリカ軍を攻撃するだけで、これは両者間の重要な違いです。

ダール・ジャマイル： アメリカの指導者はイラク・レジスタンスと交渉をもったと主張していますが本当ですか？

アブ・モハメド： アメリカ政府とアメリカ軍はよくウソをつきます。彼らはイラクを侵略し、略奪し、イラク人を殺しましたが、そのすべてがウソにもとづいていました。彼らは旧政府関係者を法廷に引っぱりだし、彼らを裁き、彼らを処刑しましたが、そのすべてがウソと不法行為にもとづくものでした。侵略そのものは大量破壊兵器ならびにアルカイダとの関係にもとづいていましたが、その後、大量破壊兵器はなくアルカイダとの関係もないことが明らかになりました。それはどちらもウソだったのです。アメリカ人がレジスタンスと交渉をもったというのもウソです。これまでのところ、イラクの権利に関してレジスタンスとの交渉にむけた動きはないと見ていました。もしアメリカ人がイラクから面子を保ってイラクから引き揚げたいなら、彼らはレジスタンスやバース党指導者と交渉しなければなりません。



ダール・ジャマイル： なぜ彼らはバース党指導者と交渉しなければならないと考えるのですか？

アブ・モハメド： 彼らがバース党と交渉しようとしないのは、バース党と私たちのレジスタンスがイラクにおける抵抗闘争の主流だからです。それでもイラクには他にもレジスタンス組織があり、私たちは彼らに敬意を表しています。ここでいうレジスタンスとはバース党員によるレジスタンスおよび他のレジスタンス組織のことです。もしアメ

リカがレジスタンスと交渉したいのなら、レジスタンスを代表するいかなるグループであれ彼らが望むグループと交渉することができます。

ダール・ジャマイル： 正確にいうとイラク・レジスタンスとは何ですか？ どんな構成なのですか？

アブ・モハメド： イラク・レジスタンスとは、イラク人による愛国的な抵抗闘争です。イスラムの多くの流れを汲む多数のグループがあり、イラクの 1 地域に 1 つというではありません。レジスタンスに加わる多くのグループがあります。一部はバース党員によるもので、また一部はイスラム教に根ざすものです。私たちは次に樹立される政府はイラク社会のあらゆる部門・宗派を含む民主的なものになるだろうと考えています。新政府はそのように共有される単一の政府であるべきだと考えるからです。

ダール・ジャマイル： イラク・レジスタンスに資金と武装を提供しているのは誰ですか？

アブ・モハメド： イラクには多くの兵器があります。バース党は今後 15 年間を戦うのに十分な兵器を提供しました。資金については、イラクは多くの富者を抱える裕福な国であり、私たちはイラク国内から資金を集めることができます。

ダール・ジャマイル： イラク・レジスタンスの要求は何でしょう？

アブ・モハメド： 私たちは解放と独立を宣言します。要求するのではありません。私たちには権利があります。私たちはイラク固有の権利を求めます。私たちの要求はイラク固有の権利を取り戻すことです。イラク国民の固有の権利には次のようなものが含まれます。

- 1 , イラク・レジスタンスを構成する全体が、唯一イラク国民を代表する。
- 2 , アメリカ軍の無条件、即時撤退。
- 3 , 1991 年の制裁以降、これまでに殺されてきたイラク人とイラク（国）の双方に対する完全な補償。制裁の期間中には 170 万人のイラク人が殺され、そして戦争では、ランセットの報告によるとイラク 65 万 5000 人が殺されたとされるが、これまでの死者はおそらく 100 万人になるだろう。
- 4 , 投獄・拘束されているあらゆる人々の解放。
- 5 , 現行の手続きのすべてと、イラク統治評議会によって発行されたプレマー指令 100 項目のすべてを取り消すこと。なぜなら、国際法によると、国が占領下にあるとき、いかなる政治行為、立法行為も違法とされている。
- 6 , 制裁後に採択された国連決議の取り消すこと。
- 7 , イラクを裏切りアメリカに同調するすべての反逆者を裁くこと。

これらはイラク固有の権利であり、もしアメリカとその同盟勢力がこの権利を尊重するなら、私たちは同じテーブルに着くことができます。この権利は交渉事項にはなりませんが、撤退計画の立案と上述の権利の実行について協議することは可能です。そして、いかに時間がかかるようと、いかに犠牲を払おうと、アメリカの撤退までレジスタンス闘争は続くでしょう。

ダール・ジャマイル： イラクの危機的状況への解決策は何だと考えますか？

アブ・モハメド： ここに述べたことが私たちの唯一の解決策です。

ダール・ジャマイル： アメリカのイラク撤退はどうなると考えますか？

アブ・モハメド： その前に、アメリカには2つの道があることを指摘しておきます。第1の道は、イラク固有の権利を尊重し、上述の権利を実行するためにバース党ならびにレジスタンス、レジスタンス指導者と協議することです。それであれば私たちは彼らが何らかの面子を保って引き揚げることを認めるでしょう。第2の道は、彼らが撤退するまでレジスタンスが続くということで、彼らは面子を保つこともないでしょう。



ダール・ジャマイル： イランに対するイラク・レジスタンスの戦略は？

アブ・モハメド： イランに対するレジスタンスの戦略は、アメリカからイラクを解放するだけでなく、占領政策がもたらした宗派主義者の浸透ならびに分離策動やユスリ(いずれもイランの影響 / 訳註)からイラクを解放することでもあります。私たちは奥の深い根本的なイラク解放を考えています。

ダール・ジャマイル： 国連とアラブ連盟、近隣諸国の役割について考え方を聞かせてください。

アブ・モハメド： その役割は、アメリカ軍が撤退したあと、イラク国民に人道支援を提供することに集約されるでしょう。

ダール・ジャマイル： 南部における占領軍への攻撃は誰がやっているのですか？

アブ・モハメド： レジスタンスは北から南までイラク全土に広がっています。南部におけるイギリス軍へのレジスタンス闘争は、ジハード(聖戦)を戦うレジスタンスと、一部はバース党指導者によるものを含む純粋なイラク人によるレジスタンスです。

ダール・ジャマイル： イラク・レジスタンスの大多数は旧軍出身者なのですか？

アブ・モハメド： レジスタンスのほとんどは旧イラク軍の軍人・兵士です。

ダール・ジャマイル： イラクにおけるシーア派と逊ニ派の対立激化をどう思いますか？

アブ・モハメド： 真相を言えば、いわゆるシーア派と逊ニ派の衝突というのは正しい表現ではありません。それは政治的思惑のせいです。シーア派と逊ニ派、そしてクルド人はイラクで何千年も共存してきましたし、現在見られるような対立はありませんでした。この衝突は侵略者のせいで激化しているのです。占領軍と侵略者、その同盟勢力がイラクから引き揚げるとき、この衝突も終わります。

ダール・ジャマイル： アメリカ国民にむけてメッセージがありますか？

アブ・モハメド： ブッシュ大統領はアメリカとイラクを侮辱してきました。米軍兵士はイラクで辱められていると言えます。アメリカの兵士はイラクの街頭で泣きわめき、打ち負かされています。ブッシュは皆さんにウソをついているのです。米軍の犠牲者数は、発表される数字より、何千人も上まわっています。本当の数字ははるかに多いのです。これが私のメッセージです。そして兵士をイラクから撤退させるよう政府に働きかけることを、皆さんに要請したいと思います。さもないと彼らは全滅するでしょう。私が言いたいことは、アメリカ兵は私たちの権利を尊重しなければならないということです。もし彼らが上述の計画にそって撤退するなら、私たちはアメリカ人を憎むことなく、（撤退後には）アメリカならびにその同盟国と喜んで良好な関係を築くつもりだと言うことができます。

ダール・ジャマイル： ブッシュ政府にはどのようなメッセージを？

アブ・モハメド： アメリカ政府は犯罪者とウソツキだらけです。彼らはイラク国民の権利を尊重しなければなりません。私たちは彼らを国際法廷に告発するでしょう。彼らはアメリカ国民と世界中の前で自分たちの責任を認めなければなりません。彼らはこれ以上ウソを重ねてはならず、理性的になり、軍隊を引き揚げるべきです。

(原題： Interview with Senior Ba'ath Party Member バース党幹部とのインタビュー)



- 1 . D V D プレイヤー、 D V D ドライブのあるテレビで視聴できるほか、もちろん、パソコンでも御覧になれます。
- 2 . 1つのタイトルが終わると、メニュー画面に戻って次のタイトルを選択してください。新たな選択がないと、英字、字幕なしなどが繰り返されます。
- 3 . テレビでは、画面の縦横比率の違いによって、四辺の一部が映らないことがあります。あらかじめご了承下さい。
- 4 . 映像確認はしていますが、不良があれば交換します。ご連絡下さい。

注文および支払方法について

価格1,500円（送料込）

メールまたは振込用紙による注文を優先します。

メールの場合：

発送の宛先となる住所、氏名、電話番号を書いてください。

DVD 発送時に郵便振替用紙を同封します。後払いです。

郵便振替用紙で注文する場合

メッセージ欄に「レジスタンス D V D」と明記してください。

可能なら連絡用にメールまたは電話番号を書いてください。

郵便振替： 口座名： イラク情勢ニュース

口座番号： 01780-7-117317

イラク情勢ニュース <http://www.geocities.jp/uruknewsjapan/index.html>

〒817-0012 長崎県対馬市厳原町日吉265-2 永留史彦気付

電話 090-6411-9837 メール uruknewsjapan@ybb.ne.jp